

## 合理的配慮のための対話シート 氏名 \_\_\_\_\_ 支援機関 \_\_\_\_\_ (担当: \_\_\_\_\_)

職場で能力を発揮するために障がいのある方が事業主に配慮してもらいたいことを記入します。  
 事業主は過重な負担とならない範囲で対応できるか検討し、難しい場合には、代替案を提案し話し合ってください。  
 本人は配慮希望だけでなくセルフケアも記入します。ひとりひとりに応じた配慮が必要な場面で活用ください。

	事業主への配慮希望	配慮の目的と効果	セルフケア	調整内容
(例)	昼休憩以外に5分間の休息を2回設けていただけると有難いです	集中力を回復させ業務ミスを出さないようにするため	休息時間で回復するようストレッチなど気分転換法を活用します	午前・午後の2回、休息時間を設けます。ストレッチなどは随時行って構いません。
1	(本人記入欄)	(本人記入欄)	(本人記入欄)	(企業記入欄)
2				

## 得意・不得意・特性等

(例)真面目な性格で丁寧に仕事に取り組みます。疲れが緊張状態では気づきにくい特性がありますので訓練時は疲れ具合のチェック表をつけていました。

## 内容共有

所属			
氏名			

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日(次回更新予定) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月)